

捨てずに たべる

てまえどり

買ってすぐ食べるものは
商品棚の「手前」から取る

食べきり運動

外食時も食べきれる量を
注文し、残さず食べる

フードドライブ

家庭に眠っている食品を
支援団体などに提供する

食ロスチェック

自宅で食品ロスを
チェックする

EAT

or

or

寄付・提供で食品ロス削減 フードドライブ

県内の家庭系食品ロス年間
推計値は約3万2千トン※。
これを県民一人当たりに換算
すると、年間約30・1キログラムと
なり、1日当たり約83グラムの食
品ロスが発生していることに
なります。

この状況を踏まえ、県は「て
まえどり」、「食べきり運動」、
「フードドライブ」、「食ロス
チェック」の4つの行動を、

食品ロス削減アクション「四
つ葉のクローバー運動」とし
て重点的に推進しています。

その1つフードドライブ
は、家庭にある食べきれない
食品を持ち寄り、福祉団体や
施設に寄付する活動です。

ファミリーマート益城宮園
店では、回収ボックスを設
置し、回収した食品を一般社
団法人熊本県子ども食堂ネッ
トワークを通して、はなえみ
保育園に提供しています。

※2021年度の数値

Interview

フードドライブで 地域とのつながり深め

ファミリーマート益城宮園店
おさきゆうた
店長 小崎雄太さん



以前から馬水地区にあるはなえみ保育園と連携し、「こども店長」という職場体験のような企画をしたり、園児たちが色を付けた塗り絵を店内に展示したりと、地域とのつながりを大切にしてきました。2022年7月から一般社団法人熊本県子ども食堂ネットワークと連携し、フードドライブを始め、寄付いただいた食品を同園が運営する子ども食堂に提供しています。

食品の寄付のためだけに来店される人や、食堂で食品の提供を受けた後、来店し声をかけてくださる人もいて、地域とのつながりが深まったと感じています。

受け付けできるもの

- ・未開封で破損して
いないもの
- ・賞味期限まで2カ月
以上あるもの
- ・常温保存のもの

〈例〉缶詰、乾物、乾麺、
お菓子、レトルト食
品、飲料、調味料など



「捨てない選択」で 使い捨てから循環へ

ペットボトルを捨てずに、リサイクルしてペットボトルに再生。これまで使われていなかった資源を活用し、使用後は自然に返せる素材を製造。まだ食べられるのに食べきれない食品を捨てずに、必要とする人に提供。共通しているのは、限りある資源を大切にしたいという思いです。過剰な物の生産や廃棄は、資源の消費を増やすだけでなく、廃棄物の焼却や埋め立てなど、環境にも影響を及ぼします。一人一人が使い捨て型の消費を見直し、循環型社会の実現に向け、資源の無駄遣いを減らしていくことが大切です。

今、あなたがする「捨てない選択」が、地球の未来を守ります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

